

# 紋高養通信

## 完全燃焼!

6月13日、14日の2日間、札幌の初夏を彩る第18回札幌YOSAKOIソーラン祭りに、生徒、保護者、卒業生、そして職員の総勢141名で参加してきました。

今年は、札幌ガーデンパーク会場を皮切りに、大通り会場や本郷通り会場などの6会場にて、16回の演舞を行いました。そして、選ばれた10チームのみが参加する「お祭りパレード」にも、2年連続の出場を果たしました。また、札幌YOSAKOIソーラン祭りの夜を彩る「ソーランイリュージョン」にも始めて参加しました。雨にあたることもありましたが、「完全燃焼」の合言葉の下、日ごろの練習の成果を存分に発揮して、紋高養の舞を堂々と披露することができました。

本校では、この「よさこい」を余暇指導のひとつとおさえています。単に踊りを楽しむのではなく、よさこいを通じて紋別市をはじめとする地域の様々な行事に参加し、その参加によって得られた貴重な体験が、社会参加や自立に向けた意欲と自信につな



がっていくと考えているのです。札幌YOSAKOIソーラン祭りへの参加もそのひとつではありますが、札幌への参加には、費用や生徒への危機管理など数多くの課題を解決しなければならない現実もあります。本校が平成10年から連続12回の出場ができたのも、本校後援会をはじめとする数多くの市民の皆様、物心両面で支えてきていただいたからです。この場を借りて、心からお礼を申し上げます。

さて、今年の札幌YOSAKOIソーラン祭りは、平岸天神の2連覇にて幕を閉じました。紋高養の舞いは足下にも及びませんが、ぜひとも多くの市民の皆様、生徒たちの「完全燃焼」の姿をご覧いただき、よさこいをおして本校への理解が広がることを願っています。応援していただいた皆様、ありがとうございました。

## 紋別養護学校通信

### 「地域の参観日」にぜひお越しください!

紋別養護学校には「地域の参観日」というものがあります。紋別養護学校や寄宿舎がどんなところか、どのような教育活動をしているのかなどを、地域の皆様にご覧いただくとうと学校を一日公開する取り組みをしています。

先日6月15日、第1回地域の参観日が行われました。本校の保護者のほかに、地域の小・中学校や保健所から多数の方が参観され、一日ゆっくと時間をかけて、学校や寄宿舎の様子を見ていただきました。

小学部の授業を見た参観者からは、「子どもたちが一生懸命楽しそうに取り組んでいて良かった」「体力づくりで、音楽に合わせてみんな楽しそうにリトミックをしていたのが印象的である」「褒めながら、集中させ、体を動かしていくことへ子どもたちを導いていく指導の難しさを感じた」などの感想をいただきました。中学部の授業には「運動など体を動かすことが多く良い」「各教室での子どもに合った自立活動が良かった」「個に応じた指導、褒めることと直さな



ければならないことを、やさしく論しながら伝える指導に、先生方大変さを感じた」などの感想をいただきました。高等部には「栽培作業は子ども一人一人に合わせ、ゆっくり行われていたのが良かった」「丁寧な指導で良い」「体育ではさすが高等部という集中力を感じた」という感想をいただきました。また、寄宿舎の設備や指導場面を見て、「自立に向けての取り組みを考えていることに感動した」とおっしゃる参観者もいました。ご参観くださった方々、たくさんのご感想をお寄せくださり、ありがとうございました。

地域の参観日は、年に4回(第2回 9月1日、第3回 12月10日、第4回 3月3日)を計画していますので、本校にぜひお立ち寄りください。なお、地域の参観日に限らず、日ごろから学校を開放しております。授業を見たい、子どもたちの様子を見たい、学校や寄宿舎を知りたいという方は、下記へ気軽にご連絡ください。お待ちしております。

北海道紋別養護学校 教頭 佐藤 ☎(23)9275番